

『人間工学』誌投稿規定

1. 投稿の種類

邦文で書かれた人間工学に関する原著、短報、資料とする。他学会誌に掲載されたものを重複して投稿してはならない。ただし、本誌に短報として掲載された内容は、のちに原著論文として投稿することができる。

2. 投稿資格

日本人間工学会正会員に限る。共同執筆者も正会員であることを要する。

3. 原稿の長さ

原著・資料：図表・参考文献などを含めて刷上り6頁以内(500字詰原稿用紙約24枚)とする。英文抄録、和文抄録、キーワード(和文)をつける。

短報：刷上り2頁以内(500字詰原稿用紙約8枚)とする。英文・和文抄録、キーワードは必要としない。

なお、規定の刷上り頁を超過した場合、超過頁は著者の負担とする。

4. 投稿、採択、校正と出版権

投稿原稿は、原本1部にコピー3部を添付し、編集委員会*あてに送付する。受付日は、原稿が編集委員会に到着した日とし、また修正原稿については、その原稿が到着した日を受付日とする。原稿の採否と掲載巻号は編集委員会において決定し、本人に通知する。査読の結果、原稿の修正を要請された場合、修正原稿の提出期限は原則として2カ月以内とし、これを超えたときは新規投稿の扱いとする。

校正は、原則として初校のみ著者が行い、再校以降は編集委員会に一任する。編集の都合により原稿の補正を行うことがある。掲載された原稿は返却しない。

なお、本誌に掲載された論文等の出版権は学会に帰属するものとする。他誌へ転載する場合は、書面でその旨を編集委員会に申し出、許可を得ること。

5. 原稿の書き方・様式

原稿は簡潔にして要を得たものとし、専門を異にする読者にも趣旨の理解される表現に留意する。また、書籍・雑誌などの図、表を引用するときは、必ず出典を明記する。

- 1) 規定の投稿用紙(各巻1号に綴じ込まれたものをコピーして使用すること)に、原稿の種類、和・英の論文題目、執筆者名(ローマ字)、所属団体・

部署とその英訳、連絡先、別刷部数などを記入する。

- 2) 本文：原稿は原則としてワードプロセッサなどによる機械仕上げのものとし、書式は各巻1号に綴じ込まれた「投稿原稿の書式」とする。
- 3) 英文抄録：200語以内。B5判の用紙にダブルスペースで印字する。「英文抄録の書き方」を参照のこと。
- 4) 和文抄録：400字以内。末尾には原著論文のみキーワード(和文)をつける。
- 5) 表：1表ごとに別紙を用い、和文、英文の説明をつける。
- 6) 図(写真を含む)：1図ごとに別紙を用い、和文、英文の説明をつける。図の原稿は、白紙または青色の方眼紙に、黒インクで仕上り寸法の約1.5倍の大きさに描く。
- 7) 参考文献：本文中には引用箇所の右肩に文献の番号を記入し、本文末尾に出現順にまとめて記載する。形式は以下のとおり。
雑誌：No) 著者名：標題、雑誌名、巻(号)、ページ～ページ、発行年(西暦)。
書籍：
① 単著または共著の場合
No) 著者名：書名、ページ～ページ、発行所、出版地、発行年(西暦)。
② 分担執筆の場合
No) 著者名：題名、編者名、書名、ページ～ページ、発行所、出版地、発行年(西暦)。
- 8) 用字・用語：現代かなづかいとする。アラビア数字を使い、SI単位系(m, kg, s, Aなど)を用いる。
6. 掲載料・図版作成料・別刷料
 - 1) 掲載料：規定頁を超過した場合、超過1頁につき20,000円。
 - 2) 図版作成料：トレース、写植の貼込料は、その大きさ、複雑さによって異なるので別途請求する。
 - 3) 別刷料：別刷は最低50部、それ以上は100部単位とする。なお、後刻の申し出には応じられない。

50部	100部	200部	300部	400部
7,500円	10,000円	15,000円	20,000円	30,000円

(1995.9.18 常任理事会承認)

* 投稿先：〒739 東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第二類管理工学研究室内

日本人間工学会第13期編集委員会事務局